

借地法案外一件(借地法案)委員會會議錄(速記)第六回

會議

大正十年二月十九日午前十時四十七分開議

出席委員左ノ如シ

- 鳩山 一郎君 中島 鵬六君 原田佐之治君
- 藏内次郎作君 樋口伊之助君 加藤重三郎君
- 阿部武智雄君 高柳淳之助君 塚原 嘉藤君
- 齋 苗代君 森山儀文治君 野田文一郎君
- 作間 耕逸君 武内 作平君 板野 友造君
- 渡邊 昭君 南 鼎三君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 伯爵大木 遠吉君

出席政府委員左ノ如シ

司法省民事局長 山内確三郎君

司法省參事官 池田寅三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

借地法案

借家法案

○委員長(鳩山一郎君) 是ヨリ開會致シマス、前同ヲ以テ質問終了ノコトニナツテ居リマシテ、本日直ニ討論ニ入ル筈デアリマスガ、簡單ナ質問ガアルサウデアリマスカラ、許シテ差支アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(鳩山一郎君) ソレデハ許ス事ニ致シマス

○武内作平君 借家法第一條ニ就テ御尋致シマス、建物ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ建物ノ引渡アリタルトキハ爾後其ノ建物ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ス、ト云フコトデ、此所有者ノ賃貸ニ關スル契約ノ期限全體ニ對シテ效力ガ生ズルコトニナツテ居リマスガ、之ニ對シテ相當ノ期間ヲ附シテ效力ヲ發生スルコトニシタ方宜イコトハナイカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、建物ヲ抵當ニ致シマシタ場合ニ、抵當權ヲ實行シヤウトスルト、常ニ之ヲ妨害スル爲メニ債務者ハ有ユル方法ヲ講ズルコトハ、今日事實上澤山裁判所ニ現レテ居ル事柄デアリマス、若シカ無制限ニ效力ヲ發生スルト云フコト

ニナリマスルト、債務者ハ種々ノ奸策ヲ弄シ、ソレガ爲メニ抵當權者ハ抵當權ヲ實行スルコトガ出來ヌコトニナルト云フ結果ヲ生ズルト云フコトハ、此條文カラ當然得ル歸結デアリスガ、サウスルト土地建物ノ融通力ト云フモノニ非常ナ障礙ヲ與ヘマシテ、經濟界ヲ攪亂スルト云フ虞ガ一面ニアルノデアリマス、其外ニ實際ノ事實ト致シマシテ、借家ノ拂底ヲ救濟スル根本方針トシテハ、貸家ヲ澤山造ラセルト云フ事ガ根本方針デナケレバナラヌノデアリマス、近來貸家ヲ澤山造ッテ居ル人ハ、餘リアル金ヲ以テ貸家ヲ建テ、居ルカト云フト、金ヲ借りテ家ヲ順順ニ建テ、居ルノデアリマス、恐ラク今郊外ナドデドン、貸家ノ殖エルノ御調ニナツタナラバ、其半數ハ建テル家ヲ抵當ニシテ、ソレニ依ツテ融通シテ建テルト云フノ實情デアリマス、前ニ申上ゲマシタヤウニ、金ヲ貸シテモ抵當權ヲ十分實行ガ出來ヌ事ニナレバ、金ヲ貸ス人ハ無クナル、隨テ貸家ト云フモノガ殖エナイト云フコトニナルノデアリマス、一面ニ於テ此頃行ハレテ居リマスル悪家主ヲ懲シテ、借家人ヲ保護スルコト云フ趣意ハ宜シイノデアリマスケレドモ、之ヲ無制限ニ致シマスルナラバ、却ツテ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スヤウナ結果ヲ生ズルコトニナルト思フノデアリマス、矢張一年二年ト云フヤウナ期間ヲ附スルコトハ、常識カラ考ヘテ見テモ公平デアアルシ、サウシテ又實際貸家ヲ益々増加セシメル爲メニモ、最モ必要デアルト思フ、經濟界ヲ攪亂シナイ所謂融通力ヲ圓滿ニスルト云フ意味ニ於テモ、サウセヌケレバ非常ニ不都合ガ生ズルノデアリマスガ、政府ノ御見込ハドウデアリマスカ

○山内政府委員 第一條ノ賃貸借ハ、登記無クシテ第三者ニ對抗スルコトガ出來ルト云フコトニシテ、之ヲ無制限ニ對抗サセルト云フコトニナルト、其結果不正ナ家主等ガ詐僞借貸借ヲ作ッテ、抵當權者ヲ苦メルト云フ憂ガナイカト云フ御話ノヤウニ聞キマシタガ、ソレハ吾々モアルト考ヘルノデアリマス、今

日ニ於テモ不正ノ徒ハ登記ヲスルノデアリマス、登記ヲシテ抵當權者ヲ苦メルト云フコトハアルノデアル、是ハ登記ノ有無ニ拘ラズ、不正ノ徒ハ奸策ヲ弄スルノデアリマス、一體如何ナル法律ノ規定ヲ設ケテモ、之ヲ潛ルニ就テ惡イ事ヲスルト云フコトハ中々上手デ、其爲メニ法ノ威力ト云フモノハ、諸般ノ點ニ於テ薄クナツテ居ルト云フ事ハ私ハ認メテ居ル、併ナガラ此不正ノ徒ガ屢々サウ云フ事ヲスルトシテモ、此借貸借ノ對抗スベキ期間ヲ限ルト云フコトハ、ドウモ如何デアラウト考ヘル、登記ノ有無ニ拘ラズ、今日デモ不正ノ徒デ仕事ヲスルカラ防ギヤウガ無い、併シ多クノ借貸借ト云フモノハ——借貸借ト云フモノハ不正ノ徒ガ多クアルト云フヨリモ、寧ろ穩當ナ取引ノ方ガ大多數デアルト私ハ思ッテ居ル、ソコデ此大多數ノ通常平和ニ行ハレテ居ル所ノ借貸借關係、之ヲ保護致シマス、ト云フモノハ、登記ナクシテモ借貸借ヲ以テ、第三者ニ對抗スルコト云フコトニシタ方ガ私ハ正シト考ヘテ居ル、斯ウ云フ規定アルガ、爲メニ、不正ノ徒ガ殖エルト云フコトモアリマス、マイシ、不正ノ徒ハ今デモアルノデ其結果經濟上ノ事情ガ非常ナル妨ゲヲ受ケルト云フ事ニハ、私ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、不正ノ徒アルガ爲メニ一般ノ取引ニ於テ借貸借ノ期間——對抗シ得ベキ期間ヲ定ムルト云フ事ニハ、私ト致シテハ贊成致シ兼ネルノデアリマス

○武内作平君 只今ノ御答辯ハ結局相當ノ期間ヲ附考ヘテ居リマスガ、サウシテ其理由トシテ頻ニ不正ノ徒ト仰ッシヤイマシタケレドモ、是ハ不正ノ徒ヲ懲スルトカ、不正ノ徒ノ弊害ヲ防止スルト云フ側カラ期間ヲ附スル方宜イデヤナイカト申上ゲタノデハナイノデアリマス、今日ニ於テモ左様ナ事ガ行ハレテ居ルノデアリカラ、更ニ無制限ニ此法律ニ依ッテ對抗スルコトニナルト、抵當ニ取ツテ金ヲ貸ス人ガ無クナル、其結果此法律ノ精神ノ一デアアル借家拂底

ヲ救済スルト云フ趣意ニ反シテ、借家ガ澤山ニ出來
 スコトニナル、サウナレバ詰リ折角法律ヲ拵ヘテモ、
 却テ社會ニ害惡ヲ生ズルヤウナ結果ヲ來シハシナイ
 カト云フ事ガ骨子デアリマス、尙ホ其點ニ就テモ政
 府ニ於テモウ一段ノ御政究ヲ希望致シテ置キマス、
 ソレカラ第五條ニ就テ一寸御尋致シマス、此賃借人
 ノ同意ヲ得テ、建物ニ使用シタ疊建具等ヲ貸主ニ買
 ハセルコトハ、今日ノ社會ノ情況ニ於テ適當ナ事ト
 是ハ信ジマス、信ジマスガ買ハセル場合ヲ總テノ場
 合、賃借人ガ解約ノ申込ヲシタ時デモ、賃借人ガ解
 約ノ申込ヲシタ時デモ、總テ之ヲ買ハセルト云フコ
 トハ公平ヲ失スルノミナラズ、第一條ノ時ニ申上ゲ
 マシタヤウナ風ニ、借家ヲ益々増加セシムルト云フ
 主義ニ反對ノ結果ヲ生ズル虞ガアルト考ヘル、私ノ
 考デハ賃借人ノ方カラ家ヲ明渡シテ呉レト云フ場合
 ニ限ッテ此規定ヲ適用スルコトガ相當デアラウト思
 フ、成程最初ニ賃借人ノ同意ヲ得テト書イテアリマ
 スケレドモ、是ハ机上ノ議論ヲシ、文字ヲ解釋致
 シマスレバ、一寸理窟ハ言ヘルノデアリマススケレド
 モ、實際ノ事實ト致シマシテハ、家ヲ貸ス場合ニ於
 テ、大抵疊建具ノ附イテナイ場合ガ大阪ナドデハ多
 イノデアリマス、ソレヲ一旦貸シマスル以上ハ總テ
 ドウ云フコトヲシテモ同意ヲ與ヘルト云フ事ニナル
 ト、家ヲ貸シテ後ニ襖ヲ金襖ニシタ、斯ウ云フモノデ
 ハイケナイト云フヤウナ細カイ事ヲ言ッテモ、ソレヲ
 ドウスルト云フ譯デモナシ、是ハ即チ契約ノ時ハ斯
 ウ云フモノト話シテ居ッテモ、白イ紙襖ヲ金襖ニシタ
 カラト云ウテ小言ヲ言ッテ、賃借借ヲ解除スルト云フ
 ヤウナ事ハ出來ナイカラシテ、自然賃借人ノ同意ヲ
 得ル、大抵ノ場合ハ其暗黙ノ間ニソレヲ承諾シテ居
 ルト云フ結果ニナリマスカラ、事實ノ上カラ言ヒマ
 スルト、賃借人ガ買フト云フコトハ、此問題ガ公平
 デアルカ不公平デアアルカト云フコトノ議論ヲ左右ス
 ル一ツノ根據ニハナラヌト思ヒマス、サウスルト私
 ハ一面ニ於テ今日ノ場合ニ於テ、賃借人ヲ保護シヤ
 ウト云フ主義カラ言フノデアリマセヌガ、成ベク
 此賃借人ニモ出來得ル限リ便利ト公平トヲ得セシメ
 テ、サウシテ借家ハドウシテモサウ云フ承諾ヲ得テ

置カナケレバ、今日ノ借家ノ拂底ヲ救済スル根本的
 ノ救済ガ出來ナイト云フ問題ガアリマスカラ、サウ
 云フ主義ニ依ッテ成ベク公平ヲ得セシメタイ、サウ云
 フ考ヘカラ致シマシテ借家人ガ家ヲ借ッテ這入ッテ
 居ッテモ其自分ノ都合デ出テ行クト云フ場合ニハ、常
 ニ其品物ヲ買取レト云フコトヲ法律デ保護シナクテ
 モ宜イ、賃借人ガ明ケテ呉レト云フ場合ニ、此保證
 ガ出來サヘスレバ相當デアラウト思フ、此點ニ於テ
 ノ政府委員ノ御考ハドウデアリマスカ
 ○山内政府委員 大阪等ニ於テ疊建具ハ附カズシテ
 借家關係ノ結バレル例ガ多クアルコトハ、私モ承知
 致シテ居ル、然ルニ此案ニ就キマシテハ、五條ニ就
 テ、是ハ公平ノ見解カラ屢々議論サレテ居ル、或ハ建
 物ノ造作ハ家主ノ同意ナキ場合ニ於テモ之ヲ買取ラ
 シメナイト不經濟ダト云フ議論モ起ッテ居ル、造作ノ
 範圍モ擴ゲテ無形ノモノニマデ及ボシタラドウデア
 ルカト云フ御議論モ承ッテ居ル、然ルニ是ハ前ニモ申
 シマシタヤウニ、家主ニモ成ベク損害ノナイヤウニ
 シタイ、家ノ所有主ニモ損害ヲ受ケナイヤウニシタ
 イ、ソレデアアルカラ同意ナクシテ變ッテ造作ヲシタ
 キハ、或ハ普通ノ住宅ヲ湯屋ニシテシマフト云フヤ
 ウナ事ニナッタナラバ、是ハ非常ナ損害デ、湯屋ノ外
 ニハ使ヘヌヤウニナッテシマフ、併ナガラ承諾ヲスレ
 バ別デス、又無形ノ造作等ヲ家主ニ買ハセルト云フ
 事ニナルト、例ヘバ呉服屋ト云フモノノ之ヲ家主ニ
 買ハセナケレバナラヌト云フ事ニナルト、茲ニ又非
 常ナ損害ヲ生ズル、自分ノ家ヲ呉服屋ニ貸シテ、其信
 用ト云フモノハ自分ニハ何等ノ利益ニハナラナイ、
 却テ損害ヲスル事ニナル、殊ニ家主ハ非常ニ其負擔
 ニ堪ヘナイ事ニナル、ソレデ通常ノ住居トシテ何レ
 ニ於テモ買ッテ差支ナイ、例ヘバ疊建具ノ如キ是等ハ
 附ケテナイ家デ、疊建具ヲ入レル事ヲ不承諾ダト云
 フ様ナ事ガアリソソナ事ハナイ、是ハ疊ヲ買ハセル
 事ハ承諾ヲスルノデアリマス、サウスルト是ハ疊ハ
 時價デ買ッテ所ガ、家主ニ取ッテハ先ヅ損害ハ私ハナ
 イト思フ、多少ノ迷惑ハアルデセウ、迷惑ハアルデセ
 ウガ、二階ノ梯子トカ住宅ノ疊建具トカ云フ様ナモ
 ノヲ家主ニ買ハシタ所ガ、是ハ寧ろ家ノ必要物デアッ

テ、今マデ附貸デナイモノヲ將來附貸ニスルコトニ
 ナッテモ、一向家主ニ損害ヲ生ズルトハ私ハ考ヘテ居
 ナイ、疊ノ修繕トカ何トカ多少ノ迷惑ハアッテモ、自
 カラソレハ家賃ノ方ニ差響イテ來ルカラ、家主ノ爲
 メニ損害ヲ受ケルモノトハ考ヘテ居ナイ、迷惑ハアッ
 テモソレハ忍ンデ貰ッテ、通常ノ其家ニ附クベキモノ
 デ家主ノ承諾スルヤウナモノハ、是ハ買取ラシメル
 ノガ宜イノデ、他ノ家ノ疊ヲ持ッテ行ッテ其所ニ入レ
 ルコトノ出來ルノハマダシモデアリマスガ、疊ダケ
 持ッテ家カラ出ルト云フコトハ、賃借人ニ取ッテハ餘
 程迷惑ナ話ダラウト思フ、兎ニ角家ニ合セテ出來タ
 疊、建具、雜作等ハ、本人ガ承諾シタナラバ買取ラシ
 メテモ大シタ損害デハナク、一面ニ於テ疊、建具、造
 作ヲ買取ル關係カラ、非常ナ弊害ノ行ハレル事ノナ
 イヤウニ、法律ヲ以テ此義務ヲ賃借人ニ負擔セシム
 ルノモ大シタ負擔デハナイト云フノデ、此五條ヲ造ッ
 タノデアリマス、サウ云フ見解カラ見マスカラ、此賃
 借關係ノ終了ガ、其期間ガ満了シタ場合ニ於テ、家主
 カラ解約シタ場合モ借家人カラ解約シタ場合ニ於テ
 モ、此際ニハ疊建具等ハ之ヲ家主ニ買取リ負擔ヲセ
 シムルト云フ事ニシタ次第デアリマス、私ハ此爲メ
 ニ家主ニ非常ナ迷惑ヲ掛ケルトハ考ヘテ居ナイ、此關
 係カラ持ッテ來テ家屋ノ建設ヲスル者ガ減ル家ノ建
 設ヲ必要トスル場合ニ於テ、常ニ家カ無クナル、無ク
 ナルト云フト語弊ガアルカ知リマセヌガ、建テル者
 ガ無クナルト云フ事ニハ、私ハ想像シテ居リマセヌ
 ○竹内作平君 ドウモ法律ハ能ク御承知デセウガ、
 實際ノ事實ヲ御存知ナイカラ、サウ云フ御考デアリ
 マセウ、モウ此上ハ質問ニシテモ要領ヲ得マセヌカ
 ラ打切りマスガ、之ニ關係シテ營業用ノ物件ハ疊建
 具其他ノ造作ト云フ中ニ這入ラヌト云フヤウナ御趣
 意ノヤウニ承リマシタガ、私ノ考デハ營業用ノ物件
 デモ、賃借人ノ方カラ明渡セト請求シタ場合ニ於テ
 ハ、之ヲ買取ラシムルダゲノ規定ヲスルノガ相當デ
 アルト考ヘテ居リマス、尤モ是モ賃借人ノ方カラ勝
 手ニ解約ヲ申込シタト云フ場合ニハ、營業用物件ヲ
 總テ買取ラシムルト云フコトハ穩當デ無カラウト思
 ヒマスガ、營業用物件ヲ具付ケテ營業シテ居ル場合

ニ賃貸人ノ方カラ解約ヲ申込シダ場合ニハ、賃借人ノ方ニ於テハ非常ニ迷惑ヲスルカラ、又サウ云フ物ヲ具付ケルコトヲ承知シテ置キナガラ、之ヲ其儘明渡セト云フコトハ不穩當ト思ヒマスカラ、是ハ成ベク買取ラシメタイト云フ考ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、政府委員ノ方デハ營業用ノ物件ハ此中ニ這入ラナイト云フ御考デアリマス、ソレカラ今一ツ序デニ此等議ニ關シテハ、査定官ヲ設置シタラ宜カラウト云フ希望ガ彼方此方ニ聞エテ居リマスガ、政府ニ於テハサウ云フ希望ハアリマセヌカ、此二點ヲ伺ヒマス

○山内政府委員 私人營業用ノ物件ハ此中ニ這入ラナイトハ申シマセヌ、唯ダ先刻風呂屋ノ例ヲ出シタノハ、特ニ言葉ヲ附加ヘテ置キマシタガ、同意ガアレバ別デアルケレドモ、多クハ斯ウ云フモノニハ同意シタコトニナラウト思ヒマス、是ハ風呂屋ニシタイカラト云フ時ニハ多クハ同意ガ無イト思フ、又同意ヲ直チニ推測スルコトハ出來ナイ状態デアラウト思フ、併ナガラソレガ宜シイト同意ヲシタ以上ハ、勿論第五條ノ適用ヲ受ケテ風呂場モノノ造作トシテ買取ラシメナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ査定期間ノ事ハ、司法當局ニ於キマシテハ、一昨年來内實委員ヲ造ツテ調査シツアルノデアリマス、勿論將來ニ於テハ單リ借地借家ノミナラズ、或ハ小作等ニ於テモ査定官ノ必要ガアルト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、近キ將來ニ於テ其運ビニ至ルデアラウト思ヒマス

○作間耕逸君 最後ニ一點ダケ御尋致シマス、借家法案ハ今年初メテ提案セラレタ事デアリマスガ、借地法案ハ既ニ數次ノ議會ニ提案セラレマシタ、多クハ貴族院デ否決ノ運命ニ際會致シテ居リマス、是ハ本員等甚ダ遺憾ト致シテ居ル所デアリマスカラ、本年モ此兩案ニ對シテ貴族院議員ノ中ニハ既ニ態度ヲ御決メニナツテ居ル方モアル、稍々面白カラザル意嚮ヲ御漏シニナツテ居ルト云フ風説ガ行ハレテ居リマス、政府ハ今年コソハ是非一ツ此案ヲ貴族院ヲモ美事ニ通過セシメテ戴キタイト云フ吾々ノ滿腔ノ希望デアリマス、ソレニ就キマシテハ無論提出ノ上デナ

ケレバ、貴族院ニ於ケル經過及結果ハ、今日ヨリ豫メ測ルコトハ出來マスマイケレドモ、何カ特別ノ御見込デモアレバ安心ノ爲メニ漏シテ戴キタイト思ヒマス

○山内政府委員 貴族院ノ態度ガドウデアアルカト云フコトモ、今其豫測ヲ私カラ申スコトハ出來マセヌガ、私ノ信ズル所デハ多分通ルデアラウト考ヘテ居リマスノミナラズ、此法案ハ一回貴族院ニ出シテ、一回ハ否決一回ハ握潰シニナツテ居リマス、其否決ノ理由ハ此前ノ法案ハムヅカシ過ギタ、ソレデ果シテ運由ガ付クカ否ヤト云フコトガ安心ガ付カヌト云フノガ表面ノ理由デアリマス、本年ハ吾々ハ倒マニ垂下ッテモ必ズ通シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス

○委員長(鳩山一郎君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、最早質問ハ終了致シマシタカラ、午後十二時半カラ引續キ討論ニ入ラウト思ヒマスガ、如何デスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(鳩山一郎君) ソレデハ午後十二時半カラ開キマス
午前十一時十六分休憩
午後零時五十四分開議

○委員長(鳩山一郎君) 午前二引續キマシテ會議ヲ開キマス、直ニ討議ニ入りマス、加藤君
○加藤重三郎君 宅地法借地法兩法案ヲ通ジマシテ、私ハ斯様ナル希望條件ヲ附シマシテ、原案ヲ全部賛成致シマス、借家借地等ニ關シテ爭議調停機關ヲ設置セラレタシト云フ希望ヲ附シマシテ兩案原案ニ大賛成ヲ致シマス次第デ...

〔原案賛成ト呼フ者アリ〕
○作間耕逸君 兩法案ニ對シマシテ修正ノ意見ヲ提出致シマス、借地法ノ方ハ新タニ第二條ヲ加フ、其第二條ハ「借地權ハ其ノ登記ナキモ其ノ土地ノ占有アルトキハ其ノ土地ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ス」第十五條ヲ新ニ加ヘマシテ「借地權ノ存續期間建物時價及地代又ハ借賃ノ額ニ關シテ爭アルトキハ當事者ノ申請ニ依リ其ノ土地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ決定ス」今度第二項ト致シマシテ「前項ノ決

定ニ對シテハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ抗告スルコトヲ得」修正ノ理由ニ就キマシテハ多クハ申上ゲマセヌ、簡單ニ釋明ヲ附加ヘテ置キマス、第二條ヲ新規ニ附加ヘマシタ次第ハ、借地權ニ就キマシテ無登記對抗主義ト云フコトガ、近來借地權ニ就キマシテ新ニ認メラレマシタ所ノ大主義ト信ジテ居リマス、此一大新主義ハ此借地法ノ立法ニ就テ、吾々ハドウシテモ看過スル譯ニハ參リマセヌ、但シ無條件對抗ニアラズシテ、登記ニ代ルニ土地ノ占有即チ借地權ニ基ク占有デゴザイマスルカラ、正權原ニ基ク適法ノ占有ガアリマシタトキニハ、登記ナクシテモ其占有ナル正當ノ事實ヲ以テ、第三者ニモ對抗シテ、物權的效力ヲ得セシメタイ、斯ウ云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、第十五條ニ就キマシテハ只今加藤君カラ御述ニナリマシタ通りニ、當事者ノ紛擾ヲ解決スル特別ノ査定機關ヲ設ケタイト云フ御希望モアリマシタガ、之レニ就キマシテハ、本員等モ滿腔ノ希望ヲ以テマシテ、速カニ其實現アラシコトヲ望ンデ居ルノデゴザイマスルケレドモ、併シ政府ニ於テ定メシ御努力ニハ相成ルコト、ハ思ヒマスケレドモ、將來ノコト今日ヨリ確然ト決メテ戴クト云フ譯ニハ參リマスマイカラ、其間過渡ノ規定トシテ、セメテ此程度ノ特別ノ取扱ヲ、此借地法ノ上ニ認メテ戴キタイ、但シ是ハ單ニ存續期間或ハ時價、或ハ借賃ノ額ダケデ、盡ク數額ニ關スル爭ダケデゴザイマスカラ、明渡トカ若クハ延滞地代、借賃ノ取立トカニ關シマスル事柄ハ勿論紛訟解決ノ査定機關ノ特設ヲ見ル迄暫ク現在ノ訴訟制度ニ忍ンデ置ク、又斯ウ云フ規定ヲ設ケマシタノハ、借地人ガ地代借賃ノ減額ヲ請求スル權利ヲ新ニ借地法案デ認メラレマシタニ拘ラズ、實際ニ於キマシテハ、ソレヲ現在ノヤウニ一々訴訟ニ依ツテ訴ヘナケレバナラヌト云フコトデアリマシテハ、屢々申上ゲマス通り多額ノ費用及日子ヲ要スルコトデアリマシテ、甚ダ好マシクナイ經過ヲ來シテ居ルノデゴザイマスカラ、地主及借地人雙方カラ此程度ノ爭ハ極メテ簡單ニ、又極メテ費用ヲ少ク速ニ解決セシメタイト云フ趣旨ヲ以テマシテ、之ヲ追加シタ次第デアリマス、ソレカラ借家法ニ就キマ

追加シタ次第デアリマス、ソレカラ借家法ニ就キマ

シテハ本法第四條ヲ削除シ以下順次繰上テ、而シテ本法第五條中第二項及第三項ヲ新ニ加ヘマ
 ス、第二項ハ「賃借人カ營業ノタメニ使用セル建物ニ
 付テハ、其ノ營業ニ必要ナル設備ハ之ヲ造作ト看做
 ス」ソレカラ項方變リマシテ、第三項、第二項ノ規定
 ハ賃借人ノ解約申込ニ付テハ、義務不履行ニ依リ賃
 借借終了ノ場合ニ之ヲ適用セスソレカラ新ニ第九
 條ヲ設ケマシタ、即チ「借家權ノ存續期間造作ノ時價
 又ハ借賃ノ額ニ關シテ爭アルトキハ當事者ノ申請ニ依
 リ其建物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ決定ス、
 前項ノ決定ニ對シテハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ抗告
 スルコトヲ得」以上デアリマス、第四條ヲ削除致シマ
 シタノハ、是ハ轉賃借ノアリマシタ場合ニ、轉借人ニ
 對スル解約ノ申込ハ、賃借人ニ對スル解約ノ申込以
 外ニ別ニ發シナケレバ、轉借人ニ對シテハ其效力ヲ
 生ジナイト云フ規定ニ此法案ハ相成ツテ居ルノデア
 リマスガ、實際ニ於キマシテ轉借人ガ現在何人デア
 ルカト云フコトヲ、家主ニ於テ知ルコトハ極メテ困
 難デアリマス、又一應知リマシテモ、其後ノ經過ニ
 依ツテ、常ニ轉借人ガ代リ易イ事情ガアルト云フコト
 ハ、現在私共ノ日々之ヲ認メテ居ル所デアリマス、此
 點ニ就キマシテ山内政府委員ハ、有効適法ナル賃貸
 借ヲ設定スルニ就テ、家主ノ承諾ヲ要スルモノデア
 ルカラ、家主ハ轉借人ノ何人デアアルカハ常ニ心得テ
 居ル筈デアアルカラ、左様ナ不便ハアルマイト仰セラ
 レマスケレドモ、實際ニ於キマシテハ賃借人ガ賃貸
 借ヲ致シマスルニ、一、家主ノ承諾ヲ得ルモノデア
 リマセヌ、豫メ賃貸借ノ際ニ此建物ハ他人ニ轉賃ヲ
 シテモ宜シイデセウカ、ドウデセウカト云フノデ承
 諾ヲ求メテ置ク、又實例ト致シテハ、多ク借家證書
 ニ單ニ其承諾ガ定メテアルト云フニ過ギナイノデア
 リマス、隨テ借家人ガ一、其後ニ此度ハ甲ノ者ニ賃
 シマスカラ御承諾ヲ願ヒタイ、又其後此度ハ乙ノ者
 ニ對シテ轉賃ヲ致シマスカラ御承諾ヲ願ヒタイト云
 フ様ニ、一、轉借人ノ間ニ何某ニ轉賃ヲ致シマスル
 カラ御承諾ヲ願ヒタイト云フ申込ヲスル前ニ、家主
 ノ承諾ヲ得ルト云フ事ハ、實際ニ於テ行レテ居ナイ
 所デゴザイマスカラ、家主ト云フ者ハ賃借人ノ何人

デアアルカト云フ事ヲ常ニ知ル事ハ非常ニ困難デアリ
 マス、隨テ斯ル規定ハ家主ニハ勿論、賃借人ニモ轉
 借人ニモ何レニ對シテモ其實益乏シウシテ、却テ其
 間ノ紛擾ヲ繁クシマス虞アルノミナラズ、若シ解約
 申出ノ時期ノ違フ場合ニハ、賃借人ニ對シテハ既ニ
 賃貸借契約ハ終了シテ居ルニ拘ラズ、轉借人ニ對シ
 テハ未ダ適法ナル解約申込ノナイ爲メニ、依然トシ
 テ止ツテ居ルト云フヤウナ極メテ混雜シタル法律關
 係ヲ生ズル虞ガゴザイマスカラ、サウ云フヤウナ虞
 フモ豫メ避ケテ置キタイト云フ意思ヲ以テ、本案ヲ
 削除シタイト主張スル次第デアリマス、ソレカラ第
 五條ノ營業ニ必要ナル設備ヲ造作ト見做シタイト云
 フコトニ就キマシテ、第三項ヲ加ヘマシタノハ、成程
 第一項中ニ現在疊、建具、其他ノ造作トアリマシテ、
 一應造作ノ意義ハ明確ニナツテ居ルヤウデゴザイマ
 スガ、併シ營業上ノ設備物件ガ果シテ造作ト言ヘル
 カ、言ヘヌカト云フコトハ、此法律ガ施行セラレマシ
 タ後ニ、全國裁判所ノ判事ニ於テ一々政府當局ノ御
 考ニナツテ居ルガ如ク判斷シテ吳レルカ、ドウカト云
 フコトモ、疑義ガ多カラウト思ヒマス、其疑義ヲ豫メ
 避ケテ置キタイガ爲メニ、茲ニ甚ダ諄イヤウデアリ
 マスガ、念ノ爲メニ其意義ヲ明ニスル目的ヲ以テマ
 シテ、造作ノ範圍ヲ營業ノ設備物件マデモ含ムト云
 フコトヲ明確ニシタイ爲メニ提出シタノデアリマ
 ス、ソレカラ第三項ハ是ハ造作ノ買取權ヲ借家人ニ
 認メタノハ、本立法ノ一ノ進歩ト認メマスケレドモ、
 賃貸人ノ都合ニ依ツテ、強テ明渡ヲ求メラレル場合ニ
 於テ、之ヲ買ハシメルノハ當然デゴザイマセウケレ
 ドモ、賃借人自己ノ都合、自分ノ勝手、又ハ家賃延滞
 等義務履行ニ原因シテ、賃借人カラ明渡ヲ求メラ
 レタ際ニモ、尙ホ造作ヲ家主ガ買取ラナケレバナラ
 ヌト云フコトハ、餘リニ賃貸人タル家主ノ負擔ヲ増
 大セシメルモノデアルト云フ其心配カラ、此規定ヲ
 加ヘタ次第デアリマス、ソレカラ九條ヲ加ヘマシタ
 ノハ、借地法第十五條ヲ追加致シマシタト同様ノ趣
 旨デアリマス、是ハ説明致シマセヌ、希望條件ト致シ
 マシテ、兩法案ヲ通ジマシテ、其施行地區ハ大都市及
 其接續町村ハ勿論、全國ノ各都市ニ互リ成ベク其廣

汎ナルコトヲ望ム、而シテ差當リ是ダケノ缺陷ヲ補
 修ヲ致シマシテ、サウシテ兩法案ノ通過ヲ望ミマス
 ル意味ニ於キマシテ、只今迄ノ修正意見ヲ提出致シ
 タ次第デアリマス

○板野友造君 私ハ意見ヲ述ベマス、爰ニ今加藤君
 カラ希望條件ガアリマシタガ、此點モ——ソレカラ
 作間君カラ修正ノ意見ガアリマシタガ、此點ニ對シ
 テ政府ノ御所見ヲ承ツテ、サウシテ其上デ意見ヲ述ベ
 タイト思ヒマス

○山内政府委員 先ツ借地法ノ第一條ノ次ニ今ノ第
 二條ヲ加ヘル、是ハ借地權ハ無登記ヲ以テ第三者ニ
 對抗スルコトヲ得ルノデアリマシテ、成ベク民法ノ
 登記ハ必要ナラザル程度ニ於テ之ヲ定メナイト云フ
 精神デアリマス、而シテ建物法ニ依ル建物ノ登記ト
 云フモノハ、簡單ニ出來ル事デアアルカラ、其登記ノ
 途ヲ探ツテ始メテ第三者トノ關係ヲ生ゼシメルガ適
 當デアルト云フ意見デアアルカラ、此第二條ノ修正ニ
 ハ遺憾ナガラ賛成スル事ハ出來ナイ、モウ一ツハ裁
 判所ノ件デアリマス、是ハ決定ヲ以テスルト云フコ
 トニナツテ居リマスガ、是ハ後ニ司法大臣ヨリ希望條
 件ニ就イテ御話ガ——答辯モアリマセウガ、結局調
 停ノ機關ヲ定メテ借地、借家、其他小作關係ナリ、斯
 ウ云フヤウナ關係ニ就イテ調停機關ト云フモノハ、
 近キ將來ニ於テ定メル考ヲ有ツテ居ルノデアアル、先
 ソレノ出來ル迄ハ矢張訴訟ノ手續ニ依ル、爭ガアレ
 バ兎モ角デスガ、併ナガラ此法案ガ出來タ以上ハ、私
 ハ大シタ爭モサウ俄カニ殖エルモノトハ考ヘナイ、
 此點モ御尤ノ御意見ノヤウデアアリマスケレドモ、
 此訴訟主義ヲ斯ウ云フ決定主義ニ改ムルト云フコト
 ハ、頗ル考慮ヲ要スル問題デアリマス、差當リハ御
 賛成ヲ申上ゲル事ハ出來ナイ、ソレカラ四條ノ削除
 ノ意見——借家法ノ——是モ前ニ屢々私ガ申上ゲマ
 シタ通りニ、寢耳ニ水デ追立テラルト云フコトハ
 甚ダ可哀相デアアルカラ、一年間ハ矢張續イテ賃シテ
 置クト云フコトハ、借家人即チ住居ヲ要スル者ノ爲
 メニハ必要ナ事デアアル、勿論先借ノ場合ハ新借人カ
 ラ或程度ニ於テ明渡ノ請求等ガ起リ、或ハ解約ノ申
 入レガ出來ル、賃貸借人ノ關係ニ於テ賃貸借ハ普通

ノ事デアアルカラ、サウ云フ事ハ極メテ少ナイト思フ、併シ三條トノ權衡ヲ以テ言ヘバ、矢張り一年ノ猶豫期間ヲ與ヘルノ適當ト考ヘテ居リマスカラ、此點ノ削除ニモ遺憾ナガラ賛成ハ出來ナイ、ソレカラ營業用設備ノコト、是ハ有形ノモノデアアルナラバ、五條ノ範圍ニ入ルガ、無形ノモノヲ家主ニ取ツテハ酷デアアルト云フ意見デアアル、何レニシテモ此修正ニハ賛成スルコトハ出來ナイ、又家主ガ借家人ノ都合ニ依ッテ明渡ス場合ニ於テハ、兎ニ角釘附物ヲ買取ル意味デ承諾ヲ與ヘルノハ、家主ニ取ツテハ大シタ損害デアナイ、借家人ニ取ツテハ釘附物ヲ外シテ持ッテ行クト云フコトハ頗ル迷惑ナ話デアアル、而モ時價デアアルデアアル、サウシテ相當ノ物ヲ取得スルノデアアルカラ、家ノ設備ハ總テノ場合ニ於テ造作買ノ義務ヲ認ムルノハ適當デアアルト云フノデ、此點モ御修正ニハ賛成スルコトハ出來ナイ、ソレカラ裁判所ノ決定ノ意見モ、登記ノ事デアアルシタト同様に理由デ賛成ハ出來ナイ、ソレカラ希望條件ノ中ノ地區ノ成ベク廣クト云フ御話デアリマスガ、此東京市ト同一ノ状態ニ在ル場所デアレバ、廣ク適用スルト云フ——廣クモ狹クモ同一ノ状態ノモノニハ皆適用スルト云フ考ヲ有テ居ル、ソレダケノ事ヲ申上ゲマス、希望條件ニ就キマシテハ司法大臣ヨリ言明ガアル筈デス

○國務大臣(大木遠吉君) 只今借地借家人ノ事ニ關シマシテ、特ニ調停機關ヲ設置スベシト云フ御希望ガアリマシタガ、御希望ハ固ヨリ御尤ノコトノ存ズルノデアリマシテ、必ズヤ餘リ遠カラザル將來ニ於キマシテ、御希望ニ副フヤウニ極力努力致サウト思ヒマス、序ナガラ申上ゲマス、只今政府委員カラモ申シマシタ通り、獨リ借地借家人ノ關係ニ於テ生ズル紛争ノミナラズ、一般社會的紛争ニ就キマシテ、仲裁、調停ノ意味ニ於テ特ニ其機關ヲ設置スルノ必要ガアルト政府ニ於テモ認メテ居リマス、折角此事ニ就テハ頻リニ考慮中デアアルノデアリマス、併ナガラ此委員會ニ於キマシテ借地借家人ノ關係ニ紛争調停ノ機關ヲ設置スベシト云フ御希望ハ御尤ト思ヒマスルカラ、今現ニ考慮計畫中デアアル所ノモノガ餘リ長キ歲月ヲ經ルヤウナ事デアリマシタナラバ、更ニ借地借家人

關スル紛争ヲ調停スル機會ヲ更ニ設ケルコトモ亦必ズシモ至難ノ事デアリナイト思ヒマス、兎モ角モ只今ノ御希望デアリマシタ所ノ紛争調停ノ機關ヲ設置スルト云フコトハ、根本ニ於テ御同感、御同意デアリマス、遠カラザル將來ニ於キマシテ必ズヤ御希望ニ副フヤウニ致スコトヲ此場合申上ゲテ置ク事ヲ甚ダ喜バシク思フノデアリマス

第五類第六號 借地法案外一件委員會會議錄 第六回 大正十年二月十九日

○委員長(鳩山一郎君) 板野君、質問應答ノ體裁ニナラナイヤウニ願ヒマス

○板野友造君 私意見ヲ述ベマス、質問ハアリマセヌ、作問君カラノ修正意見モアリマシタガ、之ニ對スル政府ノ御意見ヲ拜承致シマシテ、大體ニ於テ私共原案ニ賛成致シマス、唯ダ前同政府ニ御質問申上ゲマシタヤウニ、私共此借地法及借家法ガ實施サレタ曉ニ於テ、寧ロ何方カト申シマスレバ、兩案共借家人ノ方ヲ保護スルニ厚キ傾ヲ持ッテ居リマス結果、今問題トナツテ居リマス住宅、都市ニ於ケル住宅ノ不足、住宅拂底ニ對スル此ノ住宅問題ニ對シテ、益々住宅ガ不足スルト云フヤウナ結果ヲ來シハシナイカト云フ點ガ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ問題デアリマスガ、大體ニ於テ此兩案ハ時弊ヲ救フニ於テ最モ必要ナル案ダト思フ、多少如何カト存ズル點ニ於テ憲政會ノ修正モアリマシタガ、之ニ對スル政府ノ御言明ヲ聽キマシテ安心スル次第デアリマス、唯ダ此調停機關設置ノ事ニ關シ、之ヲ次ノ議會ニ必ズ提出スルト云フノ御辯明ヲ得マセヌデハ、聊カ少シ食ヒ足りナイ點ガアリマスルケレドモ、政府ニ於テ此點ニ就テモ

今御調査ニナツテ居ル、近ク之ヲ提出スルト云フ御言明デアリマスカラ、私共ハ近キ將來ニ此事ガ提案サレルモノト見テ、大體ニ於テ本案ニ賛成致シマス

○南鼎三君 此兩法案ノ中、借地法案ノ方ハ賛成ヲ致シマス、借家法案ノ方ハ遺憾ナガラ御賛成スルコトガ出來ナイ、ノミナラズ根本ニ於テ意見ノ相違ヲ來シテ居リマス、立案ノ所謂直直シ、返上ヲ爰ニ致ス譯デアリマス、聊カ其内容ニ就テ敷衍致シタイト思ヒマス、固ヨリ此借家法案ノ返上ニ就キマシテハ、蓋シ委員中私人デ何等ノ賛成モ無カラウ、又本案ノ如キニ於キマシテモ、本會議ニ於キマシテモ多數ノ諸賢ガ居ラレマスルガ、賛成ノ御方ガ無カッタト云フコトハ失望シテ居リマスルガ、最初本會ニ御提出ニナリマシタ時、大木司法大臣並ニ山内政府委員等ニ依ッテ申サレタ事ハ、時弊ヲ救フト云フコトガ本案提出ノ骨子デアリマス、如何ナルモノニ依ッテ時弊ヲ救ヒ得ラレルカ、質問應答ヲ重ネマシタ結果、表面ニ現レテ居リマスル事ハ登記無クシテ云々、解約期間ガ延長ニナツタ云々、造作買収云々、家賃評價云々、此四ツデアリマス、此點カラ見マスレバ、借主ハ非常ニ利益ヲ受クル事ガアリマシテ結構ノヤウデアリマスルガ、此結果ガ私ガ非常ニ恐レベキ事ガ來ルノデアアラウト考ヘル、本案ニ無クテナラナイモノガ、此敷金ノ事ニ何等及ンデ居ラナイ、是ハ貸ス方ニ於キマシテモ近來ハ非常ニ値上ヲスル、又借ル方ニ於キマシテハ其値上ノ爲メニ非常ニ苦ンデ居ル、之ヲ法文上ニ現シテナイト云フコトハ一大缺點デアリマス、次ニ此解約期間ノ事ハ、三箇月ガ一年ニナツタト云フコトハ、僅ニ九箇月ノ延長デアリマスガ、彼ノ借地法案ニハ既ニ三十年ト六十年、其建造物ノ如何ニ依ッテ規定シテ居ルニ拘ラズ、此借家法案ニハ僅ニ一年ト云フ事ヲ書イテアリマスガ、私ハ普通ノ所謂無職人、天下無職ノ人ハアリマセヌケレドモ、先ヅ職業デ無い、譬ヘテ申シマスレバ會社員トカ、或ハ銀行員トカ、役員トカ云フ所ノ人デアリマシタナラバ、遠方ヨリ通ヒ、時々刻々轉宅ヲ致シマシテモ、何等自分ノ職業上ニ餘リ差構ヒガ無イケレドモ、爰ニ職業ト云ヘバ、最モ貧弱ナル所ノ例カラ擧ゲマスレバ、按摩或

第五類第六號 借地法案外一件委員會會議錄 第六回 大正十年二月十九日

ハ髮結ノ如キ者ハ、其宅ヲ逐ハレマシタナラバ、直チニ其職業ヲ失フノデアリマス、ソレデ或ハ又非常ニ立派ニ、非常ニ澤山ナル廣告費ヲ投ジテ爲ス所ノ者ガ、建築ノ土地ヲ借ル爲メ既ニ建造物ノ如何ニ依テ三十年ト六十年ヲ決メテアルニ拘ラズ、借家ノ方ハ僅ニ一年ト云フ決メテアルガ如キハ、殆ド此原案ノ骨子ヲ失フノデアラウ、爰ニ一年ト規定シテアルハ、所謂無職ノ人デアリマシタナラバ三箇月デ十分デアリマス、一年モ豫告期間ヲ與フル必要ハ何等アリマセヌ、或ハ極端ニ論ズルナラバ二箇月デモ十分デアリマス、ケレドモ職業的ニ借家ヲシテ居リマス者デアリマシタナラバ、十年位或ハ二十年位モ必要デアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、所謂銀座通りトカ、或ハ大阪邊リニ於キマシテモ、繁華ナル土地ニ於キマシテ數十方圓ノ資本ヲ投ジテモ、尙且其家ヲ借りテ居ルト云フ様ナ場合ニ於キマシテ、僅カ一年デ逐出サレルト云フヤウナ事デアリマシテハ、非常ニ此職業上迷惑ヲ蒙ル、サウ云フ有職、無職、所謂營業借主、非營業借主ヲ玆ニ區別セズシテ、單ニ一年ニ延長シタリト云フガ如キハ、非常ナル本案ノ缺點デアリマス、次ニ彼ノ新聞紙上ニ現レマスル所ニ依ルト、惡辣ナル家主、横暴ナル家主ガ現ハレマスルケレドモ、未ダ會テ不法ナル借主、不當ナル借主ト云フコトハ新聞ニハ現ハレマセヌ、此惡辣、此不法横暴ト云フコトハ、先日山内政府委員ニ依ッテ其定義ヲ拜聽シタノデアリマス、尙且前ニ如何ニシテ此家賃ト云フモノヲ決定スルノデアアルカト云フ御尋ヲ致シマシタ時ニ、政府委員ノ御答辯ニハ何等ソレ程社會ノ實情ニ喰入ッテ精査探究シテナイト云フ御言葉デアリマシタガ、サウ云フ御探究ナクシテ斯ノ如キ衣食住、最モ大事ナル吾々ノ住ムト云フコトノ法律ヲ決メラレマスルノハ、餘リ粗雑デナカラウカ知ラヌト考ヘマス...

○委員長(鳩山一郎君) 南君、本會議ガ始ッテ居リマスカラ、ドウカ簡單ニ願ヒマス

○南鼎三君 モウ濟ミマス、大抵家主ガ言ヒマスニハ、一割乃至二割ハ踏倒サレルト云フ事デアリマス、其踏倒サレルニ就テ、其踏倒シタ數量ハ、善良ナル借

主ガ此經濟組織ノ循環ニ依ッテ善イ借主ガ負擔スルコトニナルノデアリマス、斯ウ云フコトノ制裁ヲ加ヘテナイト云フコトハ、善イ借主ヲ保護シテナイ、又僅カナ家賃ヲ取り立テマスニ、直グ法廷ニ之ヲ争フテ、時日ト又金錢トヲ要スルト云フ手數ガアルノデアリマス、ソレカラ次ハ家賃ト云フモノヲ公定シテナイ、普通ノ物資デアリマシタナラバ公定スルコトハ困難デアリマスケレドモ、今ヤ他ノ物資ニ於キマシテモ公定セントスル形勢ガ現ハレテ居リマスガ、殊ニ人間ノ住ムト云フ大事ノ事ニ就テ、是非共公定シナケレバナラヌ事ガ出來ル、殊ニ只今大木法相ノ言ハレマシタ階級闘争ガ爰ニ現ハレルト云フ事デアリマス、ソレヲ見ラレテ、サウシテ其干涉ノ爲メニ此法案ト云フモノヲ御提出ニナツタコト考ヘマス、干涉ノ爲メニ此法案ヲ御出シニナツタナラバ、査定機關或ハ仲裁機關ノ如キモノハ、既ニ此本法ニ依ッテ出ナケレバナリマセヌガ、其等ガ何等ナイ、私ハ此時弊救濟ト云フ目的ノ爲メニ本案ヲ御提案ナサツタト云フコトニ就テハ御賛成ヲ申上ゲマスガ、此結果益々時弊ガ増大シテ來ルト云フコトヲ私ハ杞憂スルノデアリマス、ソレデ今ヤ時日モアリマセヌノデ、能ウベクンバ一日モ早ク此借家法案ノ根柢カラ遣リ直シテ、再度御提出ニナルコトヲ希望スル、即チ是ガ私ノ此借家法案ヲ返上致シマスル所以デアリマス

○武内作平君 私ハ作間君ノ修正意見ニ賛成致シマス、サウシテ討論終結ニ願ヒマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○委員長(鳩山一郎君) 他ニ御意見ハゴザイマセヌカ

〔無シト呼フ者アリ〕

○委員長(鳩山一郎君) 然ラバ討論ハ終了致シマシタ、採決ヲ致シマス、兩案ヲ別々ニ採決致シマス、尙ホ逐條的ニハ致シマセヌノデ、兩案ヲ別々ニ案ダケハ一括シテ採決致シマス——借地法案カラ採決ヲ致シマス、作間君ノ修正意見ニ御賛成ノ諸君ノ御起立ヲ希望シマス

〔賛成者起立〕

○委員長(鳩山一郎君) 少數、否決ニナリマシタ、加藤君板野君ノ希望條件附原案賛成ト云フ說ニ同意ノ諸君ノ御起立ヲ希望致シマス

〔賛成者起立〕

○委員長(鳩山一郎君) 多數、右ノヤウニ決定致シマシタ——借家法案ニ付テ次ニ採決ヲ致シマス、南君ノ本案反對否決ト云フ說デアリマス、ソレカラ採決ヲ致シマス、南君ノ說ニ御賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○委員長(鳩山一郎君) 少數、次ニ作間君ノ修正意見ニ就テ採決ヲ致シマス、同君ノ修正意見ニ御賛成ノ諸君ノ御起立ヲ希望致シマス

〔賛成者起立〕

○委員長(鳩山一郎君) 少數、次ニ加藤君板野君ノ希望條件附原案賛成說ニ就テ採決ヲ採リマス、御賛成ノ諸君ノ起立ヲ希望致シマス

〔賛成者起立〕

○委員長(鳩山一郎君) 多數、右ノヤウニ決定致シマシタ、是ニテ散會致シマス

午後一時三十六分散會